

2012年第2四半期決算説明会

株式会社ブリヂストン

2012年8月7日

1. 2012年第2四半期累計業績 P.3

2. 2012年通期業績見通し P.11

1. 2012年第2四半期累計業績

事業環境概要

◆ タイヤ需要

日米は概ね堅調。欧州は、財政危機等の影響により新車用、補修用共に厳しい状況。

2012年第2四半期累計 新車用タイヤ需要

	乗用車用 ラジアル (対前年比)	トラック・バス用 ラジアル (対前年比)
日本	152%	146%
北米	119%	116%
欧州	90%	95%

2012年第2四半期累計 補修用タイヤ需要

	乗用車用 ラジアル (対前年比)	トラック・バス用 ラジアル (対前年比)
日本	95%	86%
北米	98%	91%
欧州	87%	71%

※需要数値は当社推定。

◆ 為替

	2011年		2012年
	上期	下期	上期
USドル	82円	78円	80円
ユーロ	115円	108円	103円

US\$、ユーロともに対前年同期比円高。

◆ 原材料

相場動向（平均価格）推移

	2011年		2012年
	上期	下期	上期
天然ゴム <RSS#3>* (¢/kg)	549	413	373
原油 <WTI> (\$/bbl)	98	92	98

*source : Singapore Commodity Exchange Limited 期近市況価格参照

天然ゴムは、昨年上期につけた記録的な高値に対し、低水準。

第2四半期累計業績のポイント

連結全体業績

(売上高・営業利益)

対前年：増収増益

原材料安・売値改善
基盤競争力の向上 他

>

為替円高・販売数量減

事業別/所在地別 業績

事業別は、タイヤ、多角化ともに対前年増収増益。
所在地別は、欧州が販売数量減などにより減収減益。それ以外の
地域は増収増益。

事業基盤の強化

「Lean」をベースにしたうえで、商品の種類別、事業の地域別にグ
ループ・グローバル最適を強く意識した能力増強を着実に実施。

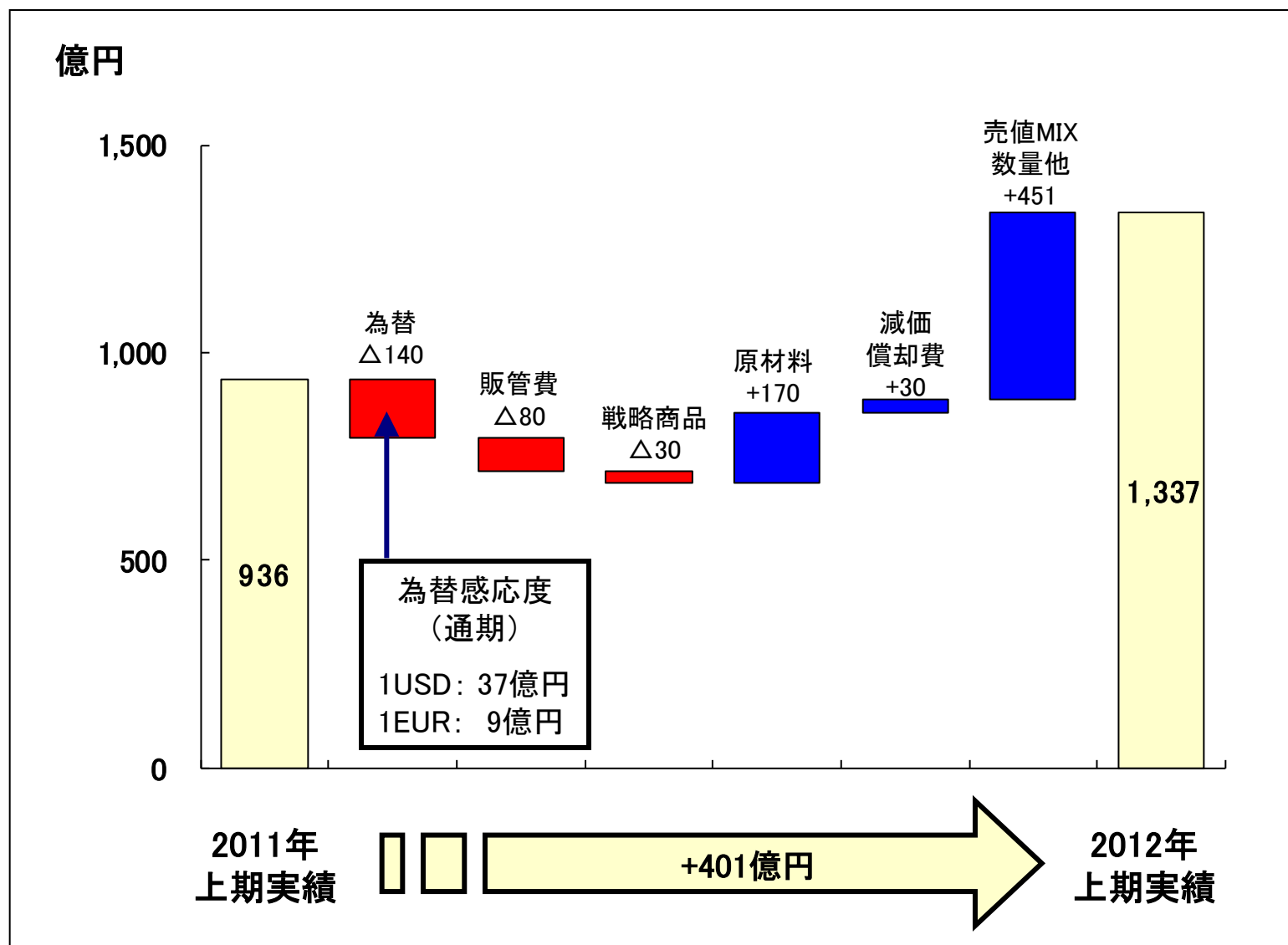
貸借対照表・ キャッシュフロー

引き続き、売上債権や棚卸資産の管理を徹底。
フリー・キャッシュフローは、今期黒字を確保。

連結業績概要

	USDドル	82円	80円	△2円	77円
(単位:億円)	ユーロ	115円	103円	△12円	100円
	2011年 第2四半期 累計実績	2012年 第2四半期 累計実績	増減(%)	(参考 2/16発表) 2012年 第2四半期 累計予想	
売上高	14,591	14,889	+2	15,200	
タイヤ部門	12,212	12,375	+1	12,700	
多角化部門	2,451	2,604	+6	2,600	
営業利益	936 (利益率) 6.4%	1,337 (利益率) 9.0%	+43 (利益率)+2.7%	1,180 (利益率) 7.8%	
タイヤ部門	897	1,196	+33	1,070	
多角化部門	38	140	+267	110	
経常利益	918	1,289	+40	1,100	
純利益	541	752	+39	700	
配当	10円	16円	+6円	16円	

営業利益増減要因（前年同期比）



所在地別セグメント業績概要

(単位: 億円)

(参考 2/16発表)

		2011年 第2四半期 累計実績	2012年 第2四半期 累計実績	増減(%)	2012年 第2四半期 累計予想
連結 売上高	日本	5,757	6,019	+5	6,100
	米州	6,325	6,617	+5	6,500
	欧州	2,067	1,752	△15	1,900
	その他	3,473	3,484	+0	3,600
		14,591	14,889	+2	15,200
連結 営業利益	日本	275	736	+167	510
	米州	370	519	+40	390
	欧州	53	8	△84	80
	その他	262	270	+3	280
		936	1,337	+43	1,180

貸借対照表ハイライト

	第2四半期末	
	実績	対前年末
総投下資本残高(億円)	27,891	+1117
(内) 流動資産(億円)	14,051	+814
固定資産(億円)	13,839	+302
純資産(億円)	12,525	+868
自己資本比率(%)	43.5	+1.3
有利子負債<ネット>(億円)	4,744	+7
	第2四半期	
	累計実績	対前年同期
設備投資(億円)	992	+258
減価償却費(億円)	731	△48

2. 2012年通期業績見通し

事業環境見通し

◆ タイヤ需要

欧州は下期も不透明な状態。新興国は堅調な伸びを見込む。

2012年通期 新車用タイヤ需要見通し

	乗用車用 ラジアル (対前年比)	トラック・バス用 ラジアル (対前年比)
日本	120%	123%
北米	117%	110%
欧州	92%	98%
新興国(*) 計	103%	146%

2012年通期 補修用タイヤ需要見通し

	乗用車用 ラジアル (対前年比)	トラック・バス用 ラジアル (対前年比)
日本	97%	99%
北米	101%	93%
欧州	90%	93%
新興国(*) 計	112%	108%

(*) タイ、インドネシア、インド、中国

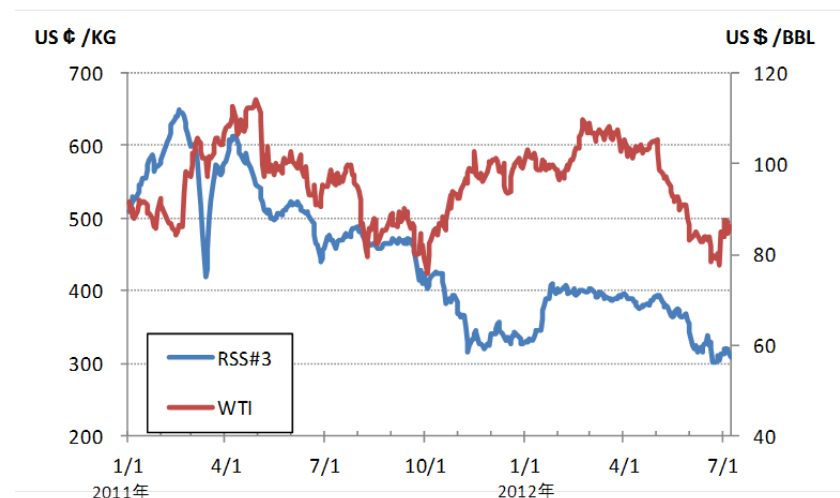
※需要数値は当社推定。

◆ 為替

	2012年 上期	2012年 下期	2012年 通期	(参考) 2/16発表 '12年予想
USドル	80円	78円	79円	77円
ユーロ	103円	95円	99円	100円

ドル、ユーロともに円高継続。

◆ 原材料

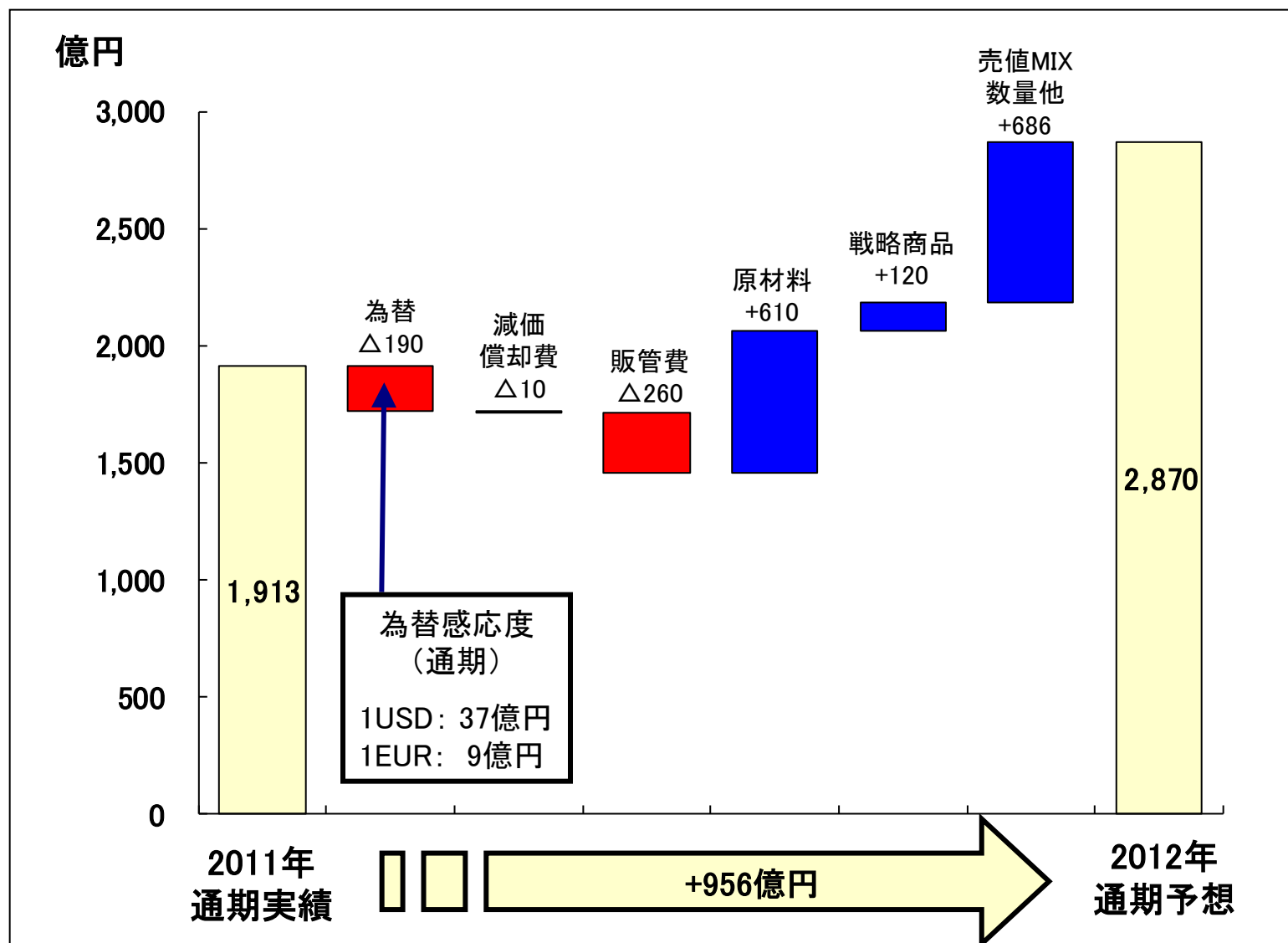


連結業績予想

(単位:億円)
 USドル 80円 79円 △1円 77円
 ユーロ 111円 99円 △12円 100円

	2011年 通期実績	2012年 通期予想	増減(%)	(参考 2/16発表)
				2012年 通期予想
売上高	30,243	31,300	+3	32,400
タイヤ部門	25,397	26,200	+3	27,200
多角化部門	5,005	5,200	+4	5,300
営業利益	1,913 (利益率) 6.3%	2,870 (利益率) 9.2%	+50 (利益率)+2.9%	2,690 (利益率) 8.3%
タイヤ部門	1,854	2,620	+41	2,470
多角化部門	58	250	+330	220
経常利益	1,793	2,690	+50	2,500
純利益	1,029	1,720	+67	1,680
配当	22円	32円	+10円	32円

営業利益増減要因予想（前年比）



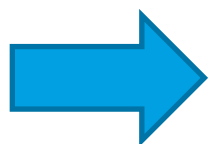
所在地別セグメント業績予想

(単位:億円)

		2011年 通期実績	2012年 通期予想	増減(%)	(参考 2/16発表) 2012年 通期予想
連結 売上高	日本	12,290	12,700	+3	13,000
	米州	12,886	13,500	+5	13,600
	欧州	4,131	3,600	△13	4,200
	その他	6,996	7,200	+3	7,700
		30,243	31,300	+3	32,400
連結 営業利益	日本	695	1,610	+131	1,250
	米州	619	880	+42	730
	欧州	113	60	△47	160
	その他	482	560	+16	650
		1,913	2,870	+50	2,690

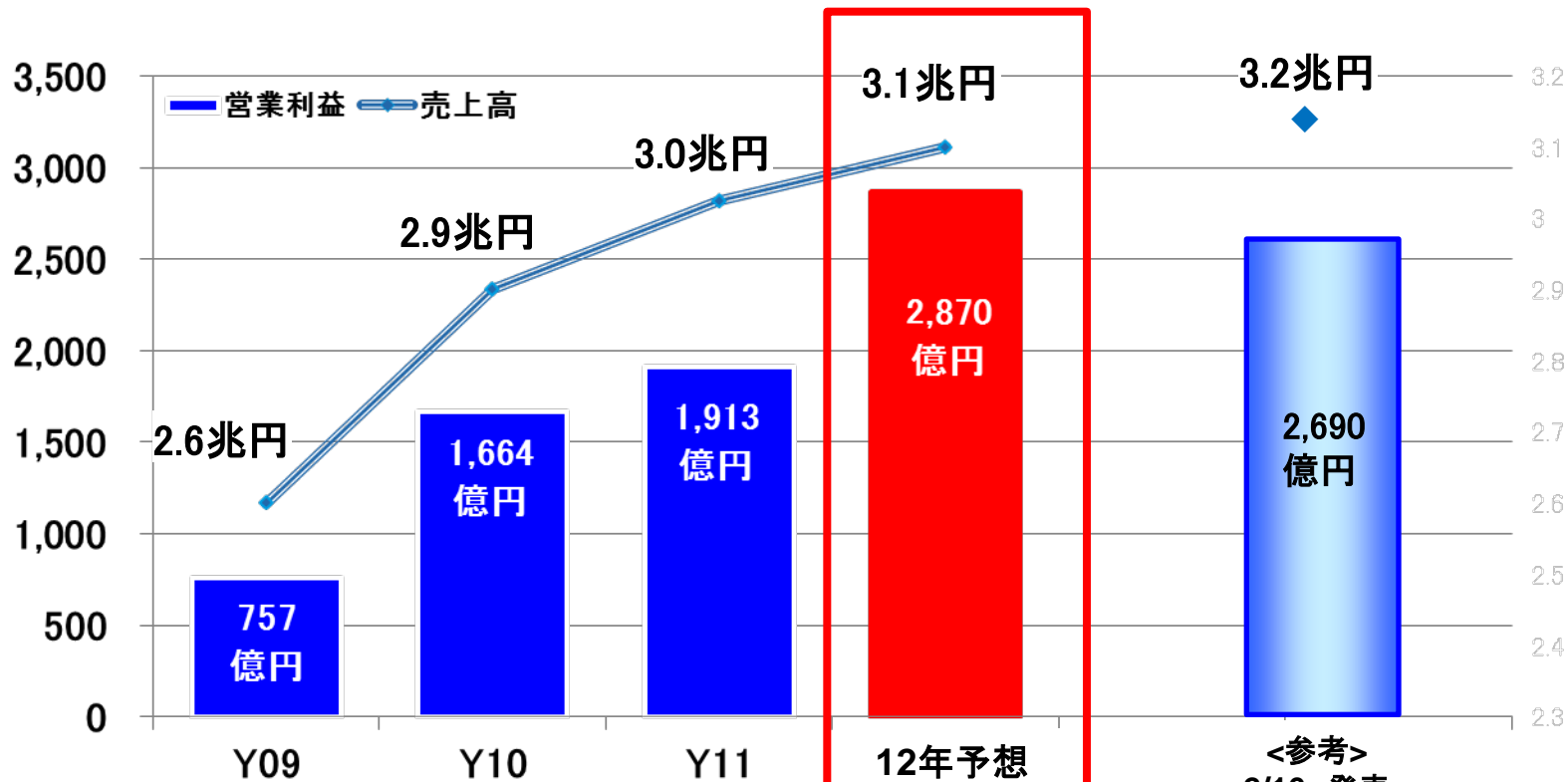
2012年 ROA6%到達に向けた取り組み

営業利益 増加要素	MTP2011 2009⇒2012 増加額	2009⇒2012 増加額見込			達成率
			2009⇒2011 進捗実績	2011⇒2012 見込	
戦略商品拡大	+670億円	+630億円	+510億円	+120億円	94%
基盤競争力の 向上	+460億円	+470億円	+340億円	+130億円	102%
多角化事業	+330億円	+280億円	+100億円	+180億円	85%
数量ほか	+490億円	+730億円	+200億円	+530億円	149%



ROA6%到達へ

2012年 ROA6%への到達



	Y09	Y10	Y11	12年予想	<参考> 2/16 発表 2012年予想
営業利益率	2.9%	5.8%	6.3%	9.2%	8.3%
当期純利益率	0.0%	3.5%	3.4%	5.5%	5.2%
ROA	0.0%	3.6%	3.8%	6%超	6%超

下期の重点施策

- GLC(Global Logistic Center) 機能を最大活用したグローバルソーシングの実行
- Leanな事業体制構築に向けた施策
- グループ・グローバルの組織面でのガバナンス体制強化

将来の事業基盤構築に向けた施策

- “縦と横の広がり”の最大活用
- 事業において原材料の要素を量・価格の両面から最適化する戦略の策定
- 最適ソーシング体制整備
- 新しいビジネスモデルの開発・展開・拡大
- 多角化事業領域の強化

⇒MTP2012で詳細説明



免責条項

本資料に掲載されている業績予想、計画、戦略目標などのうち歴史的事実でないものは、作成時点で入手可能な情報からの判断に基づき作成したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。そのため、今後の当社を取り巻く経済環境・事業環境などの変化により、実際の業績が掲載されている業績予想、計画、戦略、目標などと大きく異なる可能性があります。

APPENDIX

最近発表の主な新工場建設・既存工場の増産

対象タイヤ	地域	対象工場	増産量/日	完了予定時期	
PSR	アメリカ	エイケン工場	+4,750本	2013年1Q	
			+8,000本	2015年3Q	
	ポーランド	ポズナン工場	+5,600本	2013年12月	
	タイ	ノンケー工場	+13,500本	2014年末	
	インドネシア	カラワン工場	+3,000本	2012年上期	
	インド	プネ工場(新工場)	+10,000本	2020年末 *1	(*1 2013年上期生産開始予定)
	中国	無錫工場	+4,100本	2013年上期	
天津工場		+8,800本	2014年上期		
ベトナム	ハイフォン工場(新工場)	+24,700本	2016年上期 *2	(*2 2014年上期生産開始予定)	
TBR	アメリカ	ウォーレン工場	+900本	2013年下期	
	タイ	チョンブリ工場	+2,500本	2014年上期	
	インド	インドール工場	+400本	2012年下期	
		プネ工場(新工場)	+3,000本	2020年末 *3	(*3 2013年下期生産開始予定)
	ポーランド	スタルガルト工場	+1,350本	2014年下期	
ORR	日本	北九州工場(3期)	+50トン	2013年上期	
		北九州工場(3期追加)	+20トン	2014年上期	
		防府工場	+12トン	2014年1Q	
	アメリカ	新工場	+130トン	2020年上期 *4	(*4 2014年上期生産開始予定)
	タイ	ラヨーン工場(新工場)	+85トン	2019年上期 *5	(*5 2015年上期生産開始予定)

PSR: 乗用車用タイヤ

TBR: トラック・バス用タイヤ

ORR: 建設・鉱山車両用大型・超大型ラジアルタイヤ